

チャレンジ

旭川大学高等学校 ライセンスコースだより NO22 2016. 3. 23

新しい学年の準備を ——向上に休みはない——

27年度も今日をもって終了します。いろいろな成長と課題を残しながら1年間が終わります。先日成績会議が行われ全員の進級が確定しているわけではありません。追試を受けるため春休みに課題や補習を消化しなければならぬ生徒もいます。最終的な進級の確定はもう少し時間を要します。

さて、この1年間はみなさんにとってどのような1年間だったでしょうか？ 自分の成長や進歩はどこにあったでしょうか。学習面、生活面、進路、部活動等いろいろな観点でこの1年間をしっかりと振り返り、それぞれの課題を4月からの新しい年度でぜひ消化して大きく成長してほしいと願っています。

今日は、ひとつの節目であり、通過点です。来年度に向けての気持ちを新たにすることもあります。

2年生は、最上学年になり進路実現の年になります。1年生は、中堅学年として今まで以上に成すべきこと、達成すべき課題が多くなります。

明日からは2週間の春休みに入りますが、**4月8日(金)**の新年度の始業式、また新しいクラスで再出発です。そのための準備をこの春休み中にしっかり行ってください。

始業式 8日(金)



旭大高剣道部 尾上さん 個人戦で活躍

旭川で47年ぶり全道優勝



「周囲の支えのおかげ」

尾上さんは兄の影響で、6歳ごろ地元の道場「永山南剣友会」に通い始めた。中学3年の全道大会で3位になったこともあるが、高校ではベスト8が最高。昨年の国体予選でブロック優勝し道代表として団体戦に出場したが、全道大会での優勝は今回が初めてだ。個人戦は1月7日。得意の面を決めて勝ち上がり、

旭川大学高校剣道部女子キャプテンの尾上舞さん(2年)が、1月に千歳市で開かれた北海道高校新人大会個人戦で優勝した。同校によると、旭川市内の高校生剣道女子の全道大会での優勝者は47年ぶり。尾上さんは「小さいころや、学校で教えてくれた方々の支えのおかげ」と笑顔を見せた。(石橋治佳)

(永山南中学校出身)

旭川市内で47年ぶりとなる全道大会優勝を果たした尾上さん

決勝は昨年の全国大会でベスト16入りし、国体にとともに出場した福田安優子さん(東海大四高)と対戦した。「これまでに負けたことのほうが多かった」が、動きを見極め、小手を決めて優勝した。

「稽古はつらくても、大会で結果が出るとうれい」と尾上さん。今大会の優勝で、7月に東京で開かれる団体戦の全日本都道府県対抗女子優勝大会の代表に決まった。大学生、社会人とのチームで高校生は先鋒。「流れを引き寄せたい」と意気込む。6月には最後の全国高校総体(インターハイ)出場がかかる予選があり「強い相手をイメージして稽古する。個人、団体の両方でインターハイに出たい」と目標を語った。

全経簿記検定 5/29

全商電卓検定 6/19